

第2回宮崎県教科用図書選定審議会 会議概要

- 1 日時
令和3年5月28日（金） 午前10時から午前11時50分まで
- 2 場所
宮崎県防災庁舎 防73号室
- 3 出席者
 - (1) 委員（2名出席）
立元真委員、満園真由美委員
委員（18名委任状）
黒木倫徳委員、南真紀子委員、松下綾委員、井上伸也委員、上杉可奈子委員、
矢野恭子委員、高松泰委員、細山田修委員、佐々木孝弘委員、岩崎香恵委員、
石川優子委員、田宮昌子委員、山下勉委員、佐藤公洋委員、河野美保委員、
岡本吉弘委員
 - (2) 事務局
義務教育課長、特別支援教育課長、
義務教育課課長補佐、特別支援教育課課長補佐、
義務教育課主幹（義務教育・学力向上担当）、
義務教育課副主幹（義務教育・学力向上担当）、
義務教育課指導主事（義務教育・学力向上担当）、
特別支援教育課指導主事（指導担当）
- 4 議事内容
 - (1) 会長あいさつ
 - (2) 議事
 - ① 令和4年度使用中学校用教科用図書研究資料について
 - 研究資料作成の経過の報告
 - 専門調査員からの説明及び質疑
 - 総括質疑及び審議
 - ② 令和3年度宮崎県教科用図書審議会の答申について
 - 事務局からの提案
 - 質疑及び審議
 - (3) その他
 - (4) 県教育委員会あいさつ
- 5 要旨
 - 義務教育課長補佐からの教科書研究資料作成の経過について報告後、専門調査員の説明を受け、質疑応答及び審議が行われた。
 - 義務教育課主幹（義務教育・学力向上担当）が令和3年度答申案について説明し、質疑応答及び審議が行われた。
 - 県独自の「緊急事態宣言」期間中であったため、宮崎県教科用図書選定審議会規則第6条に則り、委員については委任状の提出をもって、その一切の権限を会長に委任し、会長、副会長の出席のもと実施した。

6 主な質疑内容

(1) 令和4年度使用中学校用教科用図書研究資料について

<社会（歴史的分野）>

Q： 各学校では1人1台端末（タブレット端末）が整備されつつある状況にある。その活用の観点から、二次元バーコード（QRコード）について、各発行者はどのように取り扱っているか。

A： 二次元バーコードやQRコードを読み取って関連動画や画像を見たり、関係省庁などへリンクしたりして学習に活用できるようになっている。具体的には、全8者のうち、6者が活用できるようになっている。

Q： 2015年に国連サミットで策定された持続可能な開発目標（SDGs）の観点から、社会科にも多く関連する部分があると思うが、SDGsについて、各発行者はどのように取り扱っているか。

A： 歴史的分野では、各発行者とも、例えば環境問題について、江戸のエコ社会や産業革命などの内容を学習する際、SDGsと関連付けて学習するなど、学習内容との関連で触れることができるようになっている。

今回は歴史的分野のみの研究であったが、SDGsについては、地理的分野、公民的分野、地図帳の本文で触れたり、特設コーナーを設けて紹介したりするなどして学習内容との関連を図ることができるように各発行者が取り扱っている。

(2) 令和3年度宮崎県教科用図書審議会の答申について

意見： 答申文案作成にあたり、丁寧に進めていただいたことに感謝する。本答申については、6月1日（火）に県教育委員会に届けることとする。